

新しい彦根へ。

彦根市議会議員

# もりの克彦

かつ ひ こ

## ■ご挨拶

平素は、皆様には格別のご支援、ご高配を賜りまして誠にありがとうございます。新市長就任後10カ月が経過し11月定例会にてようやく副市長が決定し、令和4年2月1日からの就任予定となりました。新たな市政運営が始まりますが、コロナ対策、経済対策等さまざまなサービスが市民ファーストで実行されるよう、議員としての職務を遂行してまいります。引き続き、皆様のご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

■事務所  
〒522-0025  
滋賀県彦根市野田山町485  
☎0749-21-1111

■自宅  
〒522-0007  
滋賀県彦根市古沢町480-5  
☎0749-46-5546

✉ morino@siren.ocn.ne.jp

- ▼略歴
- 滋賀県立米原高等学校 理数科 卒業
  - 兵庫県立神戸商科大学 商経学部 経済学科 卒業
  - 滋賀大学 大学院修士号取得(経済学)
  - 滋賀大学 大学院修士号取得(経営学)
  - 森野税理士事務所 ●彦根市議会議員

もりの克彦 検索

<http://morino-katsuhiko.com>

## 活動報告



### 11/17 (水) 市内視察① 国道8号米原バイパス 「彦根トンネル」工事

令和3年9月14日に貫通した全長773mの「彦根トンネル」を通り、工事の進捗状況を確認してきました。令和7年秋には供用開始となる予定で、米原～彦根間の渋滞緩和と利便性の向上が期待されます。その後、彦根～甲良町～愛荘町～東近江市へと8号線バイパスの整備が予定されています。



### 11/17 (水) 市内視察② 「原松原トンネル」工事

名神高速道路彦根インターの原町交差点から国道8号線古沢町交差点を結ぶ全長1,700mの都市計画道路原松原線のうち1,135mがトンネルであり(彦根カントリー倶楽部の下を通ります。)、11月末時点で1,004mまで進んでおり、令和4年3月に貫通し、令和6年度上半期の供用開始を予定しています。



### 11/17 (水) 市内視察③(仮称) 「彦根総合運動公園」工事

第一種陸上競技場の新築工事が行われています。第三種陸上競技場やその他の公園、周辺整備を含め、令和4年12月竣工、令和5年度からの供用開始の予定です。これに合わせて金亀公園等の整備も行われています。想像以上に広い敷地、大きな建物に驚きました。



### 10/10 (日) 三社神社秋季大祭

野田山町の三社神社の秋季大祭で玉串奉奠をさせていただきました。



### 9/1 (水) 「防災の日」参集訓練

9月1日の「防災の日」に合わせて災害時の参集訓練を実施し、オンライン会議システム(Zoom)を活用して連絡体制の確認等を行いました。



オンライン会議システムによる参集



彦根市議会災害対策支援本部において本部長からの報告を受けるようす

### 11/10 (水) 彦愛犬研修会 (多賀監督講演)

彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会で、甲子園で大阪桐蔭等との激戦を制してベスト4となった近江高校の多賀章仁監督の講演会に参加しました。



### 10/14 (日) 金毘羅宮秋季大祭

紅葉が美しく暖かな秋晴れの中、野田山金毘羅宮にて秋季大祭が開催されました。



## 次回の定例会の予定

2月定例会

- 2月28日(月) 開会 (市長提案説明)
- 3月7日(月) 質疑・一般質問(個人質問)
- 8日(火) 質疑・一般質問(個人質問)
- 9日(水) 質疑・一般質問(個人質問)
- 11日(金) 予算常任委員会
- 14日(月) 予算常任委員会
- 15日(火) 予算常任委員会
- 16日(水) 企画総務消防常任委員会
- 17日(木) 福祉病院教育常任委員会
- 18日(金) 市民産業建設常任委員会
- 22日(火) 本会議 (追加議案上程・予算常任委員会)
- 25日(金) 閉会 (委員長報告、質疑、討論、採決)

## 森野税理士事務所

日本税理士会連合会  
近畿税理士会第139774号  
日本税理士政治連盟

法人税申告、所得税申告、消費税申告、  
相続税・贈与税申告、事業承継等

事務所に各種相談等受けておりますので、お気軽にご相談ください。

平日 9時00分～17時00分  
彦根市野田山町485番地  
土日祝 休み  
連絡先 電話 0749-21-1111  
FAX 0749-21-1110  
メール morino.tax.a.30007@gmail.com



## 1 特殊詐欺被害防止対策について

全国の警察が2020年に認知した振り込み詐欺など特殊詐欺の被害は前年比19.7%減の1万3526件と3年連続で減少し、被害額は12%減の277.8億円と6年連続で減少となったようです。しかし、先月8月6日から15日までの間、高齢者を対象とした運付金詐欺やキャッシュカード詐欺等の被害が県内で多発したことから、8月16日から25日までの間、県内全域に「特殊詐欺多発注意報」が発令されるなど深刻な状況が続いています。また、現在多発している特殊詐欺は、自宅の固定電話に市役所職員等をかたって電話をかける手口が増加しているなど、コロナ禍での在宅率の増加を狙い、コロナ関連の補助金等を利用した犯行など悪質な内容となっております。このような現状の中、市民を特殊詐欺の被害から守るための彦根市の取り組みについて質問いたします。

### ①市内の特殊詐欺被害の現状は

令和元年・・・件数19件、被害額4,887万円  
令和2年・・・件数6件、被害額587万円  
令和3年(7月末時点)・・・件数6件、被害額1,082万円  
※6件の内容(架空請求3件、キャッシュカード詐欺2件、金融商品等取引1件)

### ②防止対策の現状は

防犯メール、ひこまちアプリ、エフエムひこねを通じて、可能な限りリアルタイムで最新の詐欺情報を提供し、詐欺内容の早期の周知による被害防止を図っている。また、彦根警察署や犬上・彦根防犯自治会等の関係機関と連携して啓発活動を行っている。

### ③対策の効果と今後について

取組みの結果、令和2年は令和元年と比較して被害件数・被害額ともに減少しており、一定の効果があったと考えているが、令和3年7月末時点では、前年同期比で増加に転じていることから、警察等と連携して、より一層の被害防止対策に取り組んでいく。

主管課：まちづくり推進課  
答弁者：企画振興部長

## 2 彦根シティマラソンのオンライン開催について

昨年11月8日(日)に予定されておりました第34回彦根シティマラソンは新型コロナウイルス感染症の発生や感染拡大の防止を図るため中止となりました。そして、今年の第35回彦根シティマラソンが大会史上初のオンライン開催に行われるという情報が公開されましたので、その内容について質問いたします。

### ①オンライン開催の内容は

定員2,000人、参加費2,000円、スマホと専用アプリを活用して大会期間中(11月4日～17日)に自由に設定したコースを走る「10kmランニング」

### ②開催趣旨と目的は

新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、オンライン形式で開催することにより、美しい自然や文化を有する城下町彦根を知ってもらい、走る機会の提供により心身の健全な育成を図ることを目的としている。

### ③高齢者の参加は可能か

オンラインの開催であり専用アプリの活用もあるため、このようなツールの活用にも慣れない高齢者等が参加を希望される場合には、丁寧な説明をさせて頂き参加できるようサポートしていく。

主管課：スポーツ振興課  
答弁者：文化スポーツ部長

## 3 危険なバス停について

「危険なバス停」とは、横断歩道や交差点のそばに設置され、停車したバスで死角ができ、交通事故を誘発する恐れがあるバス停で、国土交通省は実態調査を行った結果、初めて危険なバス停の全都道府県の状況を明らかにしました。危険の度合いによって、ABCの3つのランクに分類されており、その数、全国約40万のバス停のうち、1万195カ所がこれに該当するということです。滋賀県内でも367カ所が危険なバス停として報告されており(2020年12月25日現在)、そのリストの中には彦根市内のバス停もありました。これを受け全国の都道府県で安全対策が実施され始めているということで以下質問いたします。

### ①市内の危険なバス停の数は

彦根市内に22カ所(Aランク11カ所、Bランク11カ所、Cランク0カ所)ある。  
※Aから順に危険度が高い

### ②安全対策の実施の現状は

現状においては対策の実施には至っていない。



### ③安全対策完了までの実施スケジュールは

現時点では具体的なスケジュールは示されおらず、本市としてもできるだけ早く対策が完了するよう必要な支援を行っていく。  
※AランクBランクの中でも、306号線のバス停など、交通量、通学路付近、道路の歪曲度などに応じて、市内での対策の優先順位を確認して早期の対応をお願いする。

主管課：交通対策課  
答弁者：都市建設部長

## 4 市民生活の利便性向上について

新型コロナウイルス感染症対策でマスク着用やパーティション設置が当たり前となり、お店のレジや窓口業務などでの聞き取りづらさが双方にとってストレスとなり、言い争いの現場を目撃することがあります。また、高齢者や聴覚障害者にとっては、さらに聞き取りづらくなった窓口環境の改善を求める声も出てきている中、その対策について検討されている自治体も出てきているようです。また、行政機関の窓口で受付をして長時間待つことがあります。密を避けるコロナ対策として、また、市民生活の利便性の向上のため、待たずに手続き可能な予約システムの導入を彦根市としても検討する必要があると考え以下質問いたします。

### ①窓口業務での聞き取りづらさ解消の対策は

会話のスピードをゆっくりと穏やかな口調とし、周囲の方々の迷惑にならない程度の大きな声で話よく、はっきりと答えるように心掛けている。

### ②待ち時間の短縮と密の解消のための予約システムの導入はできないか

現在導入に向けて業者選定作業を実施しており、今年度中にマイナンバーカード交付受付予約システムを導入する予定である。

### ③呼び出しブザーの導入はできないか

11月導入予定の新たな番号発券機システムでは、各窓口の順番待ちの人数が分かる機能があり、また、発券された番号札に記載されたQRコードからメールや電話番号を登録すると順番が近づいた際にメールで知らせる機能があるため、その機能を利用して待ち時間の短縮を図っていく。

主管課：ライフサービス課  
答弁者：市民環境部長

## 5 彦根市の少子高齢化対策について

一人の女性が産む子どもの数が指標となる出生率は昨年1.34と5年連続で前年を下回り、昨年1年間に生まれた子どもの数、「出生数」は統計を取り始めて以降最も少ない84万人になったと厚生労働省が発表しました。コロナ禍での妊婦の感染リスクの恐怖や先行きが不透明な状況における経済不安、また家事や育児の負担状況などを鑑み、子どもを望んでいるが妊娠を控える傾向があり、このような状況が長く続けば妊娠を控える傾向が長く続く可能性も指摘されている中、社会的なサポート体制の充実が必要であると考えます。

### ①彦根市の少子高齢化の現状は

1960年以降、緩やかに増加傾向であったが、近年は横ばいで推移している。

### ②彦根市の少子高齢化対策の現状は

「時代を担う子どもたちを安心して産み、育てることのできるまちづくり」を目標として掲げており、その指標として年間出生数を設定しており、基準値を平成30年度の947人、目標値を959人としている。

### ③彦根市の2人目以降の子育て支援の現状は

本市独自としての2人目以降の支援はない。

### ④今後の対策についての見解は

市長公約の中に「子育て支援と教育の充実」「将来の彦根像」として30万人都市を目指すことが掲げられており、その実現に向け最大限の子育て支援を行い、さらに財源を確保してより一層の子育て環境の充実を図っていく。

主管課：子育て支援課  
答弁者：子ども未来部長

## 1 高齢者ドライバーの事故防止対策について

主管課：交通対策課  
答弁者：都市建設部長

高齢者ドライバーの自動車事故が後を絶たない状況が続いております。ニュースを見るたびに、またかと思い、その犠牲となった小さい子どもや親、高齢者のことを思うと心が痛みます。75歳以上の高齢者の免許更新時の講習を義務化したり、道路の安全対策を強化したり、免許の自主返納を呼びかけ、返納後の交通手段の確保や利便性向上の整備を進めたりと様々な対策が実施されている中でも、事故は起こり続けています。75歳の講習時に問題なく合格した翌月に事故を起こすケースもありその効果も限定的であります。しかし、田舎では、日常生活に車が欠かせない高齢者も多く存在するのが現状であり、事故の未然防止に対しての十分な対策が必要であると考え以下質問いたします。

### ①彦根市の高齢者の自動車事故防止対策の現状は

彦根警察署と共同で高齢者向けの交通安全教室を実施し、シミュレーターを使用した危険予測トレーニングなどを行っている。

### ②踏み間違い事故防止装置等の設置補助の導入を検討しては

本市では、自動車に過度に依存しないまちづくりを進めて、運転に不安のある高齢者が運転する機会を少なくすることが重要と考えているので、現在のところ導入は考えていない。

### ③事故の未然防止に向けた今後の対策は

高齢者向けの交通安全教室などによる運転時の注意点の啓発を行うとともに、自動車に頼らない生活を実現するための路線バス・愛のりタクシー等の整備を進めていく。

## 2 インクルーシブ公園について

主管課：都市計画課  
答弁者：歴史まちづくり部長

インクルーシブ公園とは障がいのある子もいない子もみんな一緒に遊べる公園のことです。(障がいのある子のための公園ではありません)本来、公園は誰もが自由に使えるみんなの場所です。しかし、障がいのある子にとっては利用しにくい環境になっているのが現状です。屋外での遊びは幼少期の子どもにとっては心身を成長させる大切な場であり、「どんな子でも成長機会を損なわず、一緒に遊べる公園を」という思いから生まれたのが「インクルーシブ公園」です。欧米では20年以上前から広がっていましたが、日本では2020年3月、ようやく第一号として、東京都世田谷区の都立砧公園に『みんなのひろば』がオープンしました。その後、同年9月に豊島区に『としまキッズパーク』がインクルーシブ公園として新設オープンし、2021年7月には渋谷区の恵比寿南第二公園で遊具の一部がインクルーシブ遊具へと改修されました。また、石川県にある玉川公園では、2023年4月にインクルーシブパークの供用に向けて進められています。「誰一人取り残さない」をテーマとするSDGsの考えにも合致しているこの取組みを本市でも推進していく必要があると考え、以下質問します。

### ①インクルーシブ公園の必要性についての見解は

障害のある子もいない子もみんな一緒に遊べる公園として、全国的にも整備に向けての取り組みが進んでいる状況であり、本市においても必要であると認識している

### ②彦根市の現状は

現在はインクルーシブ公園として整備した公園はなく、インクルーシブ遊具もない

### ③今後の公園整備、遊具の改修の際には、インクルーシブ遊具は導入してもらえるか

すべての公園となると360近くあり難しいが、大きめの公園にはできる限り導入していく予定である

### ④再整備中の福満公園のインクルーシブ遊具の導入時期は

今年度中の完成、来年度以降の使用を予定している

### ⑤建設予定中の河瀬公園にもインクルーシブ遊具の導入はしてもらえるか

大型遊具の発注は完了しているが、導入に向けて検討していく



## 3 インクルーシブ教育について

主管課：学校支援・人権いじめ対策課  
答弁者：教育長

インクルーシブ教育とは、障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶ教育環境のことで、一人ひとりの発達や特性に合わせたサポートを行いながら、障がいのある子どもも障がいのない子どもと一緒に学び成長することを目標としています。インクルーシブ教育は障がいのある子どもにとっても障がいのない子どもにとっても大きなメリットをもたらす教育理念であると言われております。一般的に、通常学級に在籍している子どもは障がいのある子どもと関わる機会がありません。しかし、インクルーシブ教育では、障がいのない子どもにとっては、障がいに対する理解が深まり、サポートの仕方や障がいの特性などを学ぶことができ、障がいのある子どもにとっては、コミュニケーション能力や社会性を養うことができたり、周囲から様々な刺激を受けて自発的に活動に取り組む姿勢が身につくなど、双方にとってのメリットがあります。もちろん、様々な問題や課題がありインクルーシブ教育を浸透させることは簡単なことではないと思いますが、彦根市のインクルーシブ教育についての見解と現状、今後の方向性などを伺います。

### ①インクルーシブ教育の重要性についての見解は

インクルーシブ教育を推進していくことは、障がいのある児童生徒の学ぶ権利を保障するだけでなく、障がいのあるなしに関わらず、多様な人と助け合いながら困難な課題を解決し、乗り越えていく過程で経験を広めたり、社会性を養ったり、豊かな人間性を育てたりする点から大変重要であると考えている。

### ②彦根市の教育現場における現在の状況は

地域の学校では、特別支援学級に在籍する児童生徒と、通常学級に在籍する児童生徒との交流および協働学習は日常的に行われており、障がいのある児童生徒に応じて、教科の学習はもちろんのこと、学校活動や特別活動、休み時間や給食の時間等においても、通常学級の児童生徒と共に学び活動することができるよう、カリキュラムを作成し計画的に進めているところです。

### ③今後のインクルーシブ教育についての見解は

インクルーシブ教育は障がいのある児童生徒および障がいのない児童生徒の双方にとってメリットがあり、さらに充実させていく必要があると考えています。そのために、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対しての個別的教育支援計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を実施し、合理的配慮を提供できるよう教職員の研修等を充実させ、専門性の向上に努めていく。さらに、医療・保健・福祉等、社会全体の様々な機能を活用して、障がいのある子どもの教育の充実を図っていく。一方、障がいのない児童生徒に対しては、障がい者理解教育を実施し、障がいのある児童生徒と共に学び、活動したりすることで、社会共生の形成に向けて多様性を重視する心を育てていくことが大切であると考えている。

ライブ配信・録画配信で視聴いただけます。



所属会派は  
**公政会**  
です。

所属  
委員会

- 決算特別委員会
- 企画総務消防常任委員会
- 広報委員会